

格納庫の部材、市の施設で保管 扉など18点 ～末松市長の英断で実現～

NTT西日本から譲り受けた旧海軍格納庫の部材は、私たちの思いを鈴鹿市が受け止めてくれ、同市三宅町、合川地区市民センター前にある市の倉庫に保管してもらうことができました。鈴鹿市と「市民の会」との間で「NTT西日本研修センター跡地の格納庫の部材保管に関する寄託契約書」（2月9日付）を結び、文化財的な寄贈物品などを収納しているこの倉庫に、錨の形の錠のついた扉など18点を保管することができました。

私たちが保存・活用を求めた3棟の格納庫はすべて撤去されました。うち1棟だけは再建できるよう、ていねいに解体されたものの、巨額の費用がかかることなどから、再構築を断念しました。その代わりに、解体・保管されていた部材の中から、扉、扉のレール、屋根部材、格子柵、ガラス窓、電気スイッチ盤、海軍のマーク入りの水道栓など約30点を、NTT西日本から譲り受けました。

その部材の保管を、そして将来的に平和資料室の設置をお願いできないかと考え、鈴鹿医療科学大学と折衝したのですが、新しい学部をつくる計画があつて2年後には工事が始まり、スペースを確保することはむづかしい、ということでした。

NTT西日本と約束の撤去期限(1月中)が迫るなか、年明け早々の1月10日、末松則子市長と初めてじっくり話し合う機会を持つことができました。鈴鹿市が軍都として誕生した歴史を縷々お話したうえ、譲り受けた部材を市の施設で保管してもらえないか、お願いしました。末松市長は軍都として市が誕生したのは全国でも3つしかないこと(あとの2つは愛知県の春日井市と豊川市)、その戦争遺跡は市、市民にとって大切なものであることなどを理解してくれました。市長の指示を受けて事務方も検討してくれ、保管が実現したものです。

寄託契約書は13条から成り、保管期限は平成29年3月31日までとなっています。それまでにどう活用するか考えなければなりません。私たちは市民、とりわけ子どもたちが鈴鹿市の誕生の歴史を学ぶことのできる平和資料室を設立し、そこで活用することを目指しています。鈴鹿市をはじめ、市議会、多くの市民といっしょに検討していきたいと思っています。なお、市が保管してくれた部材とは別に、手で持ち運びができる神棚など10余点の小物は世話人の家などに保管、企画展などでいつでも展示できるようにしました。

ちょうど市制施行70年となる今年、市と市民の協働の第一歩を踏み出せたのではないかと思います。



清和公民館で講演と戦争遺跡の写真展を開催(12 / 1 ~ 14) 市制69周年 鈴鹿市の歩み～軍都から平和都市へ～

毎年、12月1日の市制記念日を前後して、図書館等で開催してきた戦争遺跡の写真・パネル展を今年から、講演会などを交えながら各公民館を巡回することにしました。第1回は、鈴鹿海軍工廠跡からさほど遠くない鈴鹿市清和公民館の協力を得て実施し、講演会には公民館周辺から約40名の参加者がありました。

講演会では、講師の浅尾悟(白鳥中学校教諭)さんから鈴鹿海軍工廠の設立経緯や航空写真をもとに当時の位置・規模・組織などの話に加え、現在も一部残っている当時の施設跡(戦争遺跡)をスライドで説明いただいた。戦後、工廠跡地に関わって本田宗一郎さんと当時の市長杉本龍造さんとの「お茶」にまつわる簡素な接待が、ホンダ技研工場の誘致を即日決断させたという心温まるエピソードの紹介もありました。説明は丁寧で大変わかり易いと好評で、最後に、鈴鹿市は2町12ヶ村が合併し、軍都として誕生した歴史の重みとともに、鈴鹿市にも悲惨な戦争の歴史があったことも知って欲しいと訴えられました。

参加者からは貴重な体験談を伺うこともできました。伊船町出身の方からは、北伊勢陸軍飛行場(広瀬町)と追分町あった滑走路(椿秘匿飛行場)まで誘導路で結ばれていて、小学3年生の頃、近くの山から折ってきた枝でこの滑走路を上空から見えなくするために覆った偽装の話や、深伊沢小学校は当時は軍の工場で、終戦後「竜が池」に捨てられた鉄砲の弾を夏季など水の引いた時に猟師が広い集め、火薬を取り出して狩猟に使ったとか、子どもらは弾の先でおもちゃを作ったとか遠い記憶を語ってくれました。

浅尾さんからは算所五丁目周辺の空襲で20名近い方が亡くなられたという説明がありましたが、このことについても、清和小学校周辺には多くの爆弾が落ち、爆弾池と呼ばれる大きな穴があちこちに開いていたという当時の様子とともに、爆弾の破片をボテ屋さんにとっていけば駄賃がもらえるために拾い集めたとか幼いころの話を地元の人から聞くことができました。また、不発弾も落ちたことがあるらしく、つい最近の話として、その場所が下水道工事にかかるということでボーリング探査をしたそうです。

最後に幾つかのアンケートもいただきました。○鈴鹿市は「軍都」であるということは聞いていたが、展示資料や講演会によって本当に理解することができた。○各公民館単位で「戦争と今を考える会」(仮称)など地域に根ざした決めきめ細かい活動が必要ではとのご意見もいただきました。

今後、各地を巡回し、地域に残る戦争の歴史を記録する必要を、それも急ぐ必要のあることを清和公民館での活動から感じました。



講演会



展示会

臨時総会で再構築断念を報告 平和資料室設立をめざす決議

「市民の会」は昨年11月23日、神戸コミュニティーセンターで臨時総会を開きました。出席者は約30人。格納庫の再構築断念を認めてもらうとともに、臨時総会の名で平和資料室の設立をめざす決議をしました。

加藤二三子代表が①活用できる形で再構築するには数億円のコストがかかる②建築基準法上の許可が出ない恐れもある、などの理由から格納庫の再構築を断念せざるをえなかった経緯を報告。「保存にかけた思いを平和資料室の設立につなげたい。また、跡地に記念碑的なものをつくる方向で、市、NTTと話し合いを進めている」と方針転換に理解を求めました。決議文は次の通りです。



決 議

私たちが保存を求めてきたNTT研修センター跡地の旧海軍格納庫は残念ながら取り壊されてしまいました。しかし、保存運動を通して私たちは軍都として誕生した鈴鹿市の歴史を学ぶことができ、それが市と市民の原点であることを再確認いたしました。この思いを生かし、未来につなげていくため、市民や子どもたちがそこで学ぶことのできる平和資料室の設立をめざすとともに、引き続き、市内に残る戦争遺跡を大切にしていける活動を続けていきます。私たち市民が力を合わせ、また、行政当局はじめ各方面の力をいただき、実現をはかっていくことを、臨時総会の名で決議します。

2011年11月23日

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会臨時総会

第4回市民の会総会のご案内

- ・ 日 時 2012年4月14日(土) 13時～16時
- ・ 場 所 鈴鹿市白子公民館 (鈴鹿市江島本町1-1、近鉄白子駅東徒歩5分)
- ・ 内 容 ①総会議事
②講演会 「平和資料館の先進事例に学ぶ」
(戦争と平和の資料館・ピースあいち)
③意見交換会

全国に発信し、全国から学びましょう

第16回戦争遺跡保存全国シンポジウム鈴鹿大会

1997年に松代大本営で始まり、これまで15回を重ねてきた「戦争遺跡保存全国シンポジウム」。第16回が今年8月に鈴鹿市で開催されます。

このシンポジウムは、戦争遺跡から平和を学ぶことを大切にして、戦争遺跡の保存・活用の仕方や調査の方法、そして平和資料館など若い人への継承の仕方について考えます。全国で戦争遺跡の調査や保存・活用に奮闘されている方たちが一同に会して、知恵や葛藤を交流しあいながら、次の取り組みへの見通しやヒントを見つける大会です。

鈴鹿市にはご存知の通り、多くの軍施設が造られ、軍によって誕生した市です。市内各地に残る戦争遺跡は、古代の遺跡と並ぶ鈴鹿市の大きな特色でもあります。市制70周年という記念の年に、こうした鈴鹿市の戦争遺跡を全国に発信していきたいと思えます。

また、全国には戦争遺跡を文化財に指定したり、地域の財産として積極的に活用したりしている自治体がたくさんあります。市民や行政が積極的に関わって保存・活用をしている先進的な取り組みから多くを学びたいと思えます。

皆さん、ぜひご参加ください。また、可能な方はスタッフとしてもご協力頂けますよう、よろしくお願い致します。

8月18日(土) 午後 全体会(鈴鹿市文化会館けやきホール)

夕方 懇親会(平安閣)

8月19日(日) 分科会(鈴鹿市文化会館各研修室) 閉会集会

8月20日(月) 現地見学会(①鈴鹿～四日市・菟野コース ②鈴鹿～志摩コースを予定)

【これまでの戦争遺跡保存全国シンポジウムの開催地】

- ① (1997年) …「松代大本営」の活用を進める長野県松代市(現:長野市)
- ② (1998年) …ひめゆり部隊の病院壕を調査中の沖縄県南風原(はえばる)町
- ③ (1999年) …京都市の立命館大学国際平和ミュージアム
- ④ (2000年) …海軍の掩体の保存に取り組む高知県南国市
- ⑤ (2001年) …「連合艦隊司令部」のある神奈川県川崎市
- ⑥ (2002年) …平和ミュージアム作りに取り組む山梨県甲府市
- ⑦ (2003年) …陸軍の掩体の活用に取り組む大分県宇佐市
- ⑧ (2004年) …市と市民が積極的に活用を進める千葉県館山市
- ⑨ (2005年) …被爆遺跡と軍需工場の遺跡がある長崎市
- ⑩ (2006年) …戦争遺跡の考古学的調査が進む群馬県みなかみ町
- ⑪ (2007年) …戦争遺跡についての市民活動が盛んな東京都国立市
- ⑫ (2008年) …豊川市やピースあいちなどの取り組みのある愛知県名古屋市
- ⑬ (2009年) …強制労働などを調査する長野県松本市
- ⑭ (2010年) …戦争遺跡や平和資料館の活用が先進的な沖縄県南風原町
- ⑮ (2011年) …大学が戦争遺跡活用に積極的な神奈川県横浜市

鈴鹿市の戦争遺跡を保存・平和利用する市民の会

代表 加藤二三子、竹内宏行

〒510-0254 鈴鹿市寺家1-2-47

電話 059-388-6508 メール ta818hi@mecha.ne.jp

HP <http://www006.upp.so-net.ne.jp/asao/peacesuzuka.htm>